



Answer Key

解答・解説

Class _____ No. _____ Name _____

Reading Check

1. B 2. A 3. C 4. D 5. B 6. B 7. C 8. D

True or False: 1. T 2. F 3. T 4. F 5. T 6. F

Match

★ = star 🎋 = bamboo 🌙 = moon ☂️ = umbrella 🐮 = cow 🧵 = thread 👑 = princess 🍜 = noodles

Unscramble

1. STAR 2. WISH 3. BAMBOO 4. CLOTH 5. MAGPIE 6. NIGHT

Fill in the blanks

(1) 7 (2) strip (3) faster (4) bamboo (5) sky (6) cloudy (7) stars (8) August (9) practice (10) wish

Sentence order

1. I wrote my wish on a paper strip.
2. Two stars meet once a year.
3. We hang the wishes on bamboo.
4. It is often rainy on July 7.
5. Sendai has a big festival in August.

Secret Code

MAKE A WISH (願いごとをしよう)

Maze — Secret word

STARS

解説 (Reading Check)

1. B 織姫と彦星の物語、短冊に願いを書く習慣、8月の七夕まつりなど、七夕全体を紹介しています。
2. A 第2段落に they played all day and stopped working とあります。
3. C 第3段落に Hikoboshi is the star Altair とあります。ベガは織姫です。
4. D 第3段落に about 14.4 light-years apart とあります。
5. B sewing は「裁縫」。中国の女性たちは裁縫の上達を星に祈りました。
6. B 第5段落に In Sendai, more than 2 million people come ... from August 6 to 8 とあります。
7. C 第5段落に July 7 is often rainy ... That is why some cities hold their festival in August. とあります。
8. D ルーカスは I want to speak Japanese better. と言っています。



Translations

和訳・全訳

Class _____ No. _____ Name _____

和訳（問題文）

- T/F 1. 七夕は7月7日である。
- T/F 2. 織姫はアルタイルである。（織姫はベガ）
- T/F 3. 2つの星は約14.4光年はなれている。
- T/F 4. 七夕は今の日本の国民の祝日である。（祝日ではない）
- T/F 5. 仙台七夕まつりは8月に開かれる。
- T/F 6. 七夕はブラジルで始まった。（始まりは中国）
- Unscramble 1. STAR＝星
- Unscramble 2. WISH＝願い
- Unscramble 3. BAMBOO＝竹・笹
- Unscramble 4. CLOTH＝布
- Unscramble 5. MAGPIE＝カササギ
- Unscramble 6. NIGHT＝夜
- Order 1. 私は短冊に願いごとを書きました。
- Order 2. 2つの星は年に一度会います。
- Order 3. 私たちは願いごとを笹に飾ります。
- Order 4. 7月7日はよく雨が降ります。
- Order 5. 仙台では8月に大きなお祭りがあります。
- ... has written a wish on a tanzaku＝短冊に願いごとを書いたことがある
- ... has seen the Milky Way＝天の川を見たことがある
- ... knows the name of a star＝星の名前を1つ知っている
- ... has been to a Tanabata festival＝七夕まつりに行ったことがある
- ... likes somen noodles＝そうめんが好き
- ... can find the Summer Triangle＝夏の大三角を見つけられる
- ... has a wish about sports＝スポーツについての願いがある
- ... knows the English word for tanabata＝七夕の英語の言い方を知っている
- My Tanabata wish is _____ because _____.＝私の七夕の願いは_____です。なぜなら_____だからです。
- If I could meet someone only once a year, I would _____.＝もし誰かに年に一度しか会えないなら、私は_____します。
- I want to get better at _____, so I will _____.＝私は_____が上手になりたいので、_____します。

全訳（Reading）

1 毎年7月7日、日本の子どもたちは色とりどりの細長い紙に願いごとを書きます。そして、その願いを笹の枝に飾ります。これが七夕、星祭りです。

2 このお祭りは、中国の古い恋の物語から来ています。織姫は、美しい布を織るお姫さまでした。彦星は牛の世話をしていました。結婚したあと、二人は一日中遊んで、働くのをやめてしまいました。空の王さまは怒って、二人を天の川の両側に引き離しました。今では、二人は年に一度、7月7日の夜にしか会えません。

3 空では、織姫はベガという星、彦星はアルタイルという星です。でも、驚くような事実があります。2つの星は約14.4光年はなれています。光でさえ、二人の間を進むのに14年以上かかるのです。3つめの星デネブといっしょに、「夏の大三角」という大きな形をつくります。

4 昔の中国では、女性たちがこの夜、裁縫が上手になるよう星に祈りました。日本では、江戸時代の子どもたちが字がうまくなるよう願いました。今では、テストに受かりますように、試合に勝てますようにと、人々はいろいろな願いを書きます。

5 日本の7月7日は雨が多いので、星は雲にかくれてしまうかもしれません。そのため、8月にお祭りをする町もあります。仙台では8月6日から8日に、200万人以上が巨大な紙の飾りを見に訪れます。雨でも晴れでも、空を見上げて願いごとをする夜です。

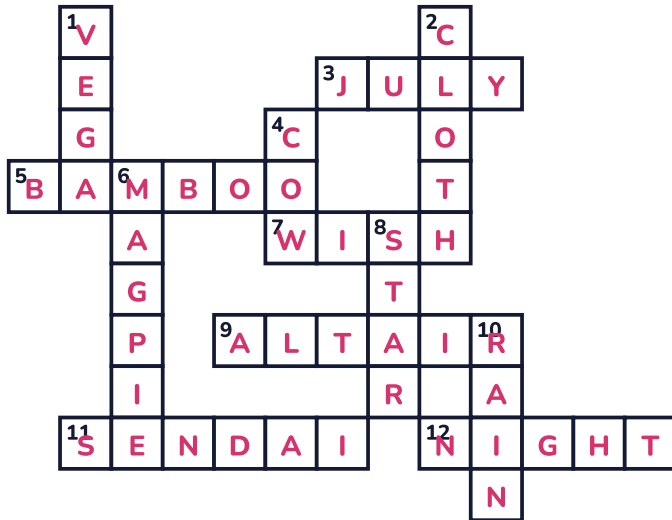


Answer Key (Puzzles)

解答 (パズル)

Class _____ No. _____ Name _____

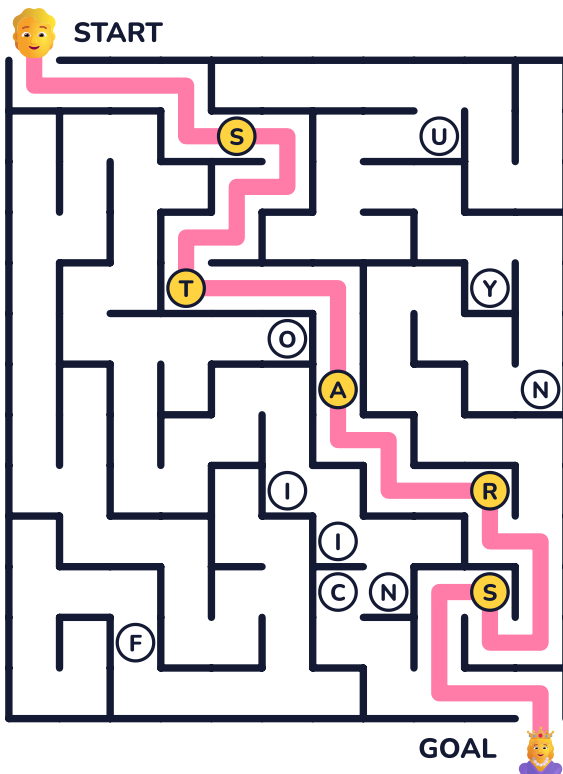
Crossword



Word Search



Maze





Answer Key (Advanced)

解答 (発展セット)

Class _____ No. _____ Name _____

発展セット C1: Comprehension

1. B 第1・第2段落で改暦が日本の七夕を変えたこと、第3段落で中国・韓国でも別の行事になったことが書かれ、最後に One story ... can produce many different holidays とまとめています。1・3・4は本文にありません。
2. A 第1段落 When Japan adopted the solar calendar in 1873, however, the date July 7 suddenly landed in the middle of the rainy season. が根拠です。2・3は本文になく、4の月については旧暦のときに半月が真夜中前にしずんだという話です。
3. C 第2段落 Since 2001, the National Astronomical Observatory of Japan has even published a traditional Tanabata date each year to encourage stargazing. が根拠です。1の月遅れは各地域の選択で、天文台が決めたものではありません。2と4は本文にありません。
4. B 第1段落で、旧暦の七夕は梅雨がたいいて明けた夏の夜で、半月に近い月が真夜中前にしずんだと書かれています。雨も月明かりも少ないので、今の7月7日より星が見やすかったと推測できます。1は月が早くしずむことと矛盾、3と4も本文と合いません。
5. C vivid は「生き生きとした・はっきりした」。七夕は、改暦が伝統を変える様子がはっきり分かる例だ、という意味です。1・2・4は「例」を説明する言葉として合いません。
6. D 第3段落で、中国では恋人たちの祭り、韓国では雨がうれし涙として歓迎されると紹介し、One story, in other words, can produce many different holidays. と結んでいます。1・2・3は本文の目的と合いません。

発展セット C2: Vocabulary

1-g (vivid=生き生きとした、はっきりした) 2-h (reform=改革) 3-a (lunar=月の、太陰の) 4-b (adopt=採用する)
5-c (community=地域社会、地域の人々) 6-d (encourage=うながす、すすめる) 7-e (inspire=(考えや作品の) もとになる、着想を与える) 8-f (observe=(祝日・習慣を) 守る、祝う)

Paraphrase (例)

1. But after Japan started using the solar calendar in 1873, July 7 suddenly came during the rainy season.
2. When people choose a date, they think about both their daily lives today and the stars that gave us the story.
3. So the same story can become many different kinds of holidays.

Summary (例)

Tanabata was once held on the seventh day of the seventh lunar month, after the rainy season. When Japan adopted the solar calendar in 1873, July 7 fell in the rainy season, so towns chose different dates. In China and Korea, the same legend became a couples' festival and a day welcoming rain.

Advanced Reading 全訳

- 1 七夕は、暦の改革が伝統の形をどう変えるかを示すよい例です。何世紀もの間、このお祭りは旧暦7月7日、つまりたいいて梅雨が明け、半月に近い月が真夜中前に沈む夏の夜に行われていました。ところが1873年に日本が太陽暦を採用すると、7月7日という日付は突然、梅雨のまっただ中に来てしまいました。
- 2 地域ごとに対応は分されました。新しい日付を守る地域もあれば、1か月遅らせる地域もあり、旧暦に従い続ける地域もわずかにありました。2001年からは、国立天文台が星空観察を勧めるため、伝統的七夕の日付を毎年発表しています。それぞれの選択は、現代の日々の暮らしと、伝説を生んだ夜空とのバランスを映しています。
- 3 一方で、同じ伝説は中国や韓国にも生き続けており、そこでは今も旧暦で祝われています。中国では恋人たちのお祭りになり、韓国ではその日の雨がうれし涙として歓迎されます。つまり、一つの物語から、いくつもの違う祝日が生まれうるのです。